



# 伏虎中便り No. 8

平成25年12月2日

(伏虎中便りは、中学校 HP にも掲載しています。)

**音楽鑑賞会** 11月29日(金)、ピアニストの村田千佳さん、バイオリニストのライナー・ホーネックさんをお迎えして、本校体育館で音楽鑑賞会を開くことができました。

村田さんは、和歌山市出身で、現在、東京芸術大学や聖徳大学で講師を務めながらソロや室内楽の演奏活動を積極的に行っておられます。平成23年度和歌山市文化奨励賞や2013年度和歌山県文化奨励賞も受賞されている素晴らしい若手ピアニストです。また、ホーネックさんは、31歳の若さで世界最高峰のウィーンフィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターに就任。オーケストラでの演奏はもちろん、ソリストとして、近年は指揮者としても高い評価を受けておられる、まさに世界をリードする演奏家です。

鑑賞会当日は、素晴らしい演奏に加えて楽しいお話や質問コーナーもあり、心温まるすてきな時間を過ごすことができました。村田さん、ホーネックさん、お忙しい中を伏虎中学校に来てくださり、本当にありがとうございました。お二人のますますのご活躍をご期待申し上げます。



## 【生徒感想文から抜粋】(他にも、すてきな感想をたくさん書いてくれました。)

ピアノやバイオリンの演奏を生で聞くのは初めてだったので、とても楽しみにしていました。聞いてみると、どちらの音もととてもきれいでした。そして、2つの音色が美しいハーモニーを生み出して、いつまでも聞いていたいと思いました。

演奏する時、気持ちを込めるのと込めないのでは全然ちがう音楽になることがよく分かりました。「私はバイオリンで自分を表現している」「バイオリンは私の人生だ」というホーネックさんの言葉を聞いて、とてもかっこいいと思いました。

一番感動したのは、村田さんとホーネックさんの息がぴったり合っていたことです。長時間演奏していたのに、二人の息がずれることはありませんでした。プロはすごいと改めて思いました。

感激しました。二人の音楽の表現がとても個性あふれていて素晴らしかったです。音のはずみやリズム、曲に合わせた雰囲気など、すごく分かりやすかったです。

和歌山にこんなすばらしい人がいるんだと思って感動しました。そして、ウィーンフィルのコンマスの人の演奏が近くで聴けるなんて思ってもみませんでした。また、お二人の演奏会があったら、絶対に行きます。

村田さんのピアノは美しい音で、1音1音優しく丁寧に弾いているんだなと思いました。ホーネックさんのバイオリンの音は、とても繊細できれいでした。私もバイオリンを弾いてみたくなりました。

本物の演奏が聞けてとてもうれしかったです。テレビなどで聞くよりも生の方が、迫力があって、きれいな音でした。すごくいい思い出ができました。ありがとうございました。

この曲は聞いたことがある、これは知らないなど思いながら聞けて楽しかった。楽しい曲の時は、自分の体も踊りだしそうだった。伏虎中学校に来てくださり本当にありがとうございました。